

151 ノジコ

(スズメ目)

兵庫県ランク:A

*Emberiza sulphurata*

繁殖個体群:Ex 越冬個体群:無 通過個体群:C

環境省ランク:NT(準絶滅危惧)

種の概要

本州北・中部では夏鳥、本州南西部、四国、九州、沖縄では旅鳥。本州西南部でも局地的に繁殖例がある。兵庫県では主に4-5月と10月に見られる。夏は本州北・中部の低山帯の落葉広葉樹林やカラマツの明るい林、灌木のある草原に生息し、地上や枝状に営巣する。春秋の渡りの時期には、平地の河川敷や池沼周辺の疎林やヨシ原などを通過する。



写真提供:堺勝重

国内分布

北海道、本州北・中部、本州南西部、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、九州、対馬、男女群島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島

県内分布 ( )表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、明石市、(西宮市)、伊丹市、豊岡市、(宝塚市)、(川西市)、(三田市)、(養父市)、(宍粟市)、たつの市、稲美町、(香美町) ※かつて県内繁殖有



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ね特殊休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

CランクからAランクに変更。かつては集落内の灌木でも営巣する例もあったが、近年は見られなくなっている。氷ノ山、ハチ北高原で繁殖の記録がある他は、旅鳥としての通過記録である。

保護上の留意点

繁殖期に本種が生息が確認されている場所では、繁殖場所の保全が重要。春秋と秋期の渡りの時期に本種が生息する河川敷や農耕地周辺の草むら、繁みを極力残すことが必要。



写真提供:三谷康則